幼児の笑顔のために

幼児教育支援センターだより

令和　4年 1 1月　8 日 No. 27
流山市教育委員会指導課
幼児教育支援センター発行
TEL　7154－8081

各園運動会も終わり、お子様の成長を実感されたことと思います。

ある暖かな秋空の日、幼児教育支援センター附属幼稚園に保育所2園の5歳児が集まり、3クラス合同の”運動会ごっこ”が賑やかに開催されました。玉入れ、パラバルーン、リレーなど“わくわく感”で、子ども達は笑顔いっぱいになりました。

秋は“子どもの伸び盛り”という最も大切な時期であり、「食欲」だけでなく「興味」「関心」「意欲」もひとしお広がります。年長の今ごろは、「やってみたい」「おもしろそう」「できるようになりたい」というチャレンジ精神に満ちている時期でもあります。読み書きができても、その物の意味が分かり理解していなければ先に進めません。興味や意欲を大切にする日常のさりげない会話の中にこそ、学びが潜んでいるものです。また、手足を動かすことが脳を刺激します。休日には、戸外遊びをするなど、心身ともに豊かに過ごすことを心掛けていただけると良いのではないかと思います。

生涯学習センターに於いて「子育て相談会」を行いました

8名の方が参加して「子育て相談会」が開催されました。就学前の子を持つ母としての悩みを共有できた和やかな会になりました。ご参加ありがとうございました！

“フリートークの一部をご紹介”

Q、学区の小学校が遠いので、通学が心配です。

A、各小学校によって違いはありますが、多くの学校では、見守りの大人が危険箇所で旗を持ち、支援して下さっています。なるべく事前に小学校までの道のりをお子さまとご一緒に散歩しながら、信号のある交差点などの渡り方を確認すると良いでしょう。

Q、うちの子は、マイペースなところがあり、興味のあることに夢中になります。通学途上で何かに気を取られた時に、学校へたどり着くか心配になります。

A、園でも10月後半位から時間を意識し、見通しを立てて生活をするなど小学校に向けて練習をしていきます。同じ学区の子ども達が登校する中で一緒に通えるよう送り出していただければ大丈夫です。“学校は楽しいところ”だと教えワクワク感を持てるようサポートお願いします

Q、園とは違って、家では口答えが多く、宿題を見るときもこうなるかと心配です。

A、小学校では、文字などに関してもしっかりと丁寧に指導します。子ども達も意識して書くようになり、書けるようになればどんどん楽しくなります。「上手くなったね」と褒めてあげましょう。音読も聞いてあげて、「じょうずだね」と声をかけてあげてください。

Q、気になる事があったら、親から学校へ連絡してもいいのでしょうか？

A、心配な事があった時には学校に連絡してください。教育相談日や個人面談も利用すると良いですね。

POINT・・・親の心配は、子どもに不安感を与えます。小学校入学は心配かと思いますが、就学前の土台作りを大切することが子どもに自信と勇気を持たせることにつながります。

寛容な心で見守っていきましょう！！

★役に立つという喜びが得られる「家でのお手伝い」

5～6歳になると、人のためになる行動を喜びとして受け止めます。家族の一員として役に立つことで存在価値を見出し、自己肯定感も高まります。また褒められることで、自信をもつことに繋がります。♥例え親子でも“ありがとう”を大切にしましょう！！

入学までに身につけたい生活習習慣

① 早寝・早起きをする。

朝ごはんを食べる。

正しい生活リズムの基本です。
起きる時刻、寝る時刻を決めて、リズムを整えましょう。気持ちの良い一日がスタートできます。
朝ごはんを食べる習慣をつけましょう。

学習意欲や体力、気力の向上につながり、気持ちも安定します。

② あいさつをする。

挨拶はコミュニケーションの第一歩。家族はもちろんですが、周りの人達にも元気な声であいさつをしましょう。

「おはよう」・「こんにちは」・
「行ってきます」・「ただいま」
「お帰りなさい」・「ありがとう」
「おやすみなさい」など

③ 自分で着替えをする

朝起きた時やお風呂に入る時など自分一人で着替えができるようにしておきましょう。

焦らずゆっくりと見守ることが大事です。できたらほめましょう。

④ 自分で後片付けをする.

遊んだおもちゃを元の場所にしまう、脱いだ服をたたむ、靴をそろえるなど基本的なことができるようにしておきましょう。

おもちゃなど、しまう場所を決めておくといいですね。また、かごなどを利用するといいですね。雑でも片付けられたら、ほめてください。やる気がアップして、片付けが習慣化していきます。

⑤ 元気に外遊びをする。

天気が良い日は、外で遊びましょう。外で体を動かすことは、体力を向上させるだけでなく、五感を刺激し脳の活生化にもつながります。

子どもが本気になってやることと言えば、遊びです。
いろいろな遊びに挑戦する過程で、集中力や粘り強く取り組む姿勢も身につきます。
遊びと学力は地続きです。最後までやり遂げる心地よさを知ると、勉強に関しても、意欲的に取り組めるようになります。

「こどもは各駅停車、大人は、新幹線」

ゆっくりと焦らずに。大人のペースと子どものペースは、違うもの。それを意識するだけで気持ちが違ってきます。できたことは大いにほめましょう。

** 電話相談・来所相談（要予約）を行っています。**
※一人で悩まずに、まずは電話で話してみませんか。

【幼児教育相談】
TEL 04－7154－8781　月・火・木
9時から14時